



市議会だより



第3回 定例会

もくじ

- 定例会の概要…………… P 2
- 令和4年度決算…………… P 3
- 一般質問…………… P 6
- 議会のうごき…………… P11
- 議決結果一覧…………… P12

Youtubeでも定例会の様子がご覧いただけます。

—竹の径・かぐやの夕べ—
美しい遊歩道が幽玄な世界に包まれました

向日市議会
チャンネルは
こちら→



傍聴者向け
配付資料は
こちら→



令和5年第3回定例会に提出された議案

決 算	8件
補 正 予 算	3件
一般会計補正予算	1件
特別会計補正予算	2件
人 事	4件
自治功労表彰	1件
教育委員会委員	1件
人権擁護委員	2件
条例の一部改正	3件
そ の 他	1件
条例の廃止	1件
合 計	19件

令和5年 第3回定例会

令和4年度向日市一般会計 決算など19議案を可決・承認

令和5年第3回定例会は、8月28日から9月22日まで、26日間の会期で開かれました。

本定例会で市長から提案された議案は左表のとおりです。このほか、市民から請願1件、議員は意見書案2件を提出しました。

※議決結果一覧は、P12に掲載しています。

可決された主な議案

自治功労表彰

市議会議員として3期12年以上の長きにわたり、市民福祉の向上、地方自治の進展に多大の貢献

天野 俊宏 氏 (向日町南山)

長尾 美矢子 氏 (上植野町芝ヶ本)

人事議案に同意

【教育委員会委員】

流石 智子 氏 (寺戸町二ノ坪)

【人権擁護委員】

高畑 幸子 氏 (鶏冠井町御屋敷)

中山 睦美 氏 (物集女町中条)

令和5年度向日市一般会計補正予算(第4号) 1億8497万6千円の増額

令和5年度向日市一般会計補正予算(第4号)は、歳入歳出予算総額にそれぞれ1億8497万6千円を計上し、補正後の一般会計予算総額は234億7

131万6千円となりました。補正予算歳出の主な内容は次のとおりです。

◎過年度の国及び府支出金の精算に伴う返還金

.....1億7284万円

◎生活扶助基準改定等に伴う生活保護システム改修費

.....250万円

◎リサイクルボックスの整備に係る費用

.....300万円

◎不登校支援に係る費用

.....333万円

向日市個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部改正について

生活保護法の改正に伴い、個人番号の利用範囲に生活保護法に基づく保護に準じて実施する生活に困窮する外国人への生活保護の措置に関する事務を加えるものです。

この条例は、令和5年10月1日から施行されます。

向日市印鑑条例の一部改正について

コンビニエンスストア等に設置されている多機能端末から印鑑登録証明書を取得する際、スマートフォンを用いた申請が可能となるよう、条例の一部を改正するもので、印鑑登録証明書の申請方法に移動端末設備による申請を追加するものです。

この条例は、別途規則で定める日から施行されます。

令和4年度

8 会計決算を認定

令和4年度一般会計の決算状況は、歳入250億5,602万円（対前年度1.1%減）、歳出231億7,070万円（対前年度1.8%減）、歳入歳出差引総額18億8,532万円で翌年度に繰り越す事業の財源を除いた実質収支は17億5,861万円となりました。

採決に際し、5議員が賛成討論、2議員が反対討論を行いました。要旨は次ページ以降に掲載しています。

なお、紙面の都合上、会派の大きい順番で掲載しています。

令和4年度決算額

区分		歳入	歳出
一般会計		250億5,602万円	231億7,070万円
特別会計	国民健康保険事業	55億9,680万円	55億7,082万円
	後期高齢者医療	9億7,134万円	9億3,278万円
	介護保険事業	49億9,768万円	47億2,698万円
	大字寺戸財産区	1,045万円	1,031万円
	物集女財産区	299万円	238万円
水道事業 会計	収益的収支(税抜)	12億1,321万円	11億5,148万円
	資本的収支(税抜)	2億2,157万円	4億7,199万円
公共下水道 事業会計	収益的収支(税抜)	14億5,386万円	14億5,386万円
	資本的収支(税抜)	7億6,273万円	13億299万円

令和4年度の主な事業

(1) 歴史を活かし、活力と魅力あるまちづくり

- 史跡長岡宮跡等買上事業……………4億1,802万円
- 向日市おうえん割引クーポン事業……………4億7,763万円
- 道路整備推進事業……………1億5,180万円
- 都市計画道路推進事業……………1億8,687万円
- JR向日町駅東口開設推進事業……………4億1,106万円

(2) 人と暮らしに明るくやさしいまちづくり

- 新型コロナウイルスワクチン接種事業……………2億9,429万円
- 健康増進センター改修事業……………1億1,091万円
- 水道管路の耐震化事業……………2億2,026万円
- 学校施設環境整備事業……………1億9,595万円

(3) 信頼と協働で市民の声が届くまちづくり

- 市民会館整備事業……………1億507万円

討 論

一般会計決算

※文責は会派及び議員にあります。

反対

市民のくらしを最優先に

日本共産党議員団 米重 健男 議員

コロナ禍・物価高による市民生活への影響回避と少子高齢化社会への対応を図った決算である。市民の要求が実現したとして評価できるものは、1.向日市おうえん割引クーポン事業、2.新型コロナウイルス感染症検査事業及びワクチン接種事業、3.健康増進センター改修事業、4.古紙等回収推進事業、5.市民会館整備事業、6.向日庵資料活用事業、7.竹林ボランティア活動推進事業、8.子ども家庭総合支援事業、9.給食費の物価高騰分を市で負担したこと、10.ゼロカーボンシティ宣言、11.東野辺雨水管渠敷設事業、12.上下水道管路耐震化・長寿命化、13.学校施設環境整備事業、14.道路整備事業である。これは市民の福祉の増進につながった。

意見を違える点、改善すべき点は、1. JR向日町駅東側再開発事業、2. 牛ヶ瀬馬場線の南部延伸、3. 育休中の上の子の休所が継続されていたこと、4. 潜在的な待機児童となっている保育児童及び保育希望のある児童への対応が不十分、5. マイナンバーカード推進、6. 長時間労働の常態化、7. 市民会館に市の名称が入っていないこと、8. 市営駐車場の有料化、9. 「まちテラスむこう」の運営が指定管理者任せである、10. 全国学力・学習状況調査である。これらの事業は、向日市のあり方を大きく変えるにもかかわらず全市民的な合意形成が不十分なものである。評価できる点もあるが、大きな事業に問題があり、一括の採決となるため反対する。

討論

一般会計決算

※文責は会派及び議員にあります。

賛成

各事業の迅速な取組みを評価する

日本維新の会 無所属の会 村田 光隆 議員

新型コロナウイルス感染症も5月より「5類感染症」に移行され、感染の拡大がなお続いてはいるが、平常の生活に戻りつつある。9月20日からはX.B.B.1・5のワクチン接種も始まり、職員の方々のご努力に引き続き感謝申し上げます。

向日市おうえん割引クーポン事業は、一つの店舗に著しい偏りがあり、盛況ではあったが、次に実施される際には、偏りのない公平な事業を行っていただきたい。

道路整備推進事業においては、ニデック周辺の道路が新しく整備され、自転車専用レーンも新設され、自転車の利用環境や通学路の歩道、新たな公園整備にも力を入れていただいた。市民にとって念願である、JR向日町駅東口開設もいよいよ前進し始め、3年後の開設、5年後の完成が待ち遠しい限りである。

防犯カメラ整備事業は、加速度的に設置作業が進み、犯罪抑止につながっている。

粗大ごみの受け付けがインターネットでも始まり、分かりづらかったごみ分別も新たなアプリケーションが導入された。今後も市民の利便性が向上するとともにごみの減量、不法投棄の削減へご努力いただきたい。

永守重信市民会館が本年より開館した。成人を祝う会も当館で執り行われ、市民の文化、学習の拠点、憩いの場となるよう期待する。また、災害時の避難所としての役割も担っており、市民の安心・安全にも寄与するものと期待する。

賛成

市民の声を反映させた決算

自民クラブ 天野 俊宏 議員

令和4年度は、コロナ対策と、物価高対策も求められる大変な一年であった。同時に、市制施行50周年、向日市教育150年の節目の年でもあり、また、永守重信市民会館が開館した記念の年でもあった。その中、ワクチン接種や我々が市民の声を聞き要望した、上下水道料金の基本料減免、小規模事業者支援のお買いもの向日市おうえん割引クーポン事業実施について高く評価している。

主要事業では、本市観光資源の竹の径の整備、老人福祉センターのラッピングバス、デザインマンホールは、市制50周年を記念した本市の魅力発信として評価する。また、都市計画道路や幹線道路、生活道路、通学路などの整備も、一層の安全対策の推進として評価する。JR向日町駅東口開設推進事業は、支障移転工事の着手、駅舎・自由通路のデザイン決定、市街地再開発事業では、実施設計などに支援するなど、本市に大きな布石となる取組と評価する。次に、子ども家庭総合支援拠点として、子ども家庭課の新設は、子育て支援や子ども真ん中政策としても高く評価する。また、健康増進センターを皆様の期待に迅速に応え、再開したことも評価する。そして、学校施設の整備では、各学校の外壁改修工事、4向小児童増加による給食室増築工事の実施、GIGAスクール授業支援システムとデジタルドリルの導入でタブレットの積極活用も評価している。

今後も引き続き、よりよい向日市を目指し、着実に、市民目線に立った事業の推進、市民福祉のより一層の向上を強く要望し、自民クラブとしての賛成討論とする。

賛成

スピード感と積極性を実感できる

公明党議員団 富安 輝雄 議員

令和4年度は、向日市制施行50周年、向日市教育150年を迎え、さらにはご寄付いただいた永守重信市民会館が開館するなど記念すべき年であったことから、安田市長におかれては様々な記念事業に取り組んでこられた。また、新型コロナウイルス感染症や物価高騰が、国際秩序や世界経済から市民一人ひとりの生活にまで大きな影響を及ぼしている中、市民の生活を守るため、様々な感染症拡大への備えはもちろん、経済の下支え、社会の活性化に取り組んでいくという喫緊の課題に対して、スピード感を持って、積極的に取り組んでこられたと認識している。

特に、新型コロナウイルスワクチン接種事業をはじめ、子育て世帯生活支援特別給付金事業、生活困窮者自立支援金給付事業、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金事業を実施されたことに加え、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、上下水道料金の基本料減免や向日市おうえん割引クーポン事業、子育て支援臨時特別給付金事業などの事業を実施され、市民の安心安全で健康な暮らしを送れるよう支援されたことなど、高く評価できる事業が展開された。

今後も安田市長はじめ、市職員の皆さんが全庁一丸となって、向日市民のために鋭意精進し続けられることを心より期待し決算に賛成する。

討論 一般会計決算

※文責は会派及び議員にあります。

賛成

明るい未来が見える決算

MUKOクラブ 近藤 宏和 議員

令和4年度決算歳入総額は250億5601万円、前年の253億3757万円より1.1%の減であったが、歳出も前年236億374万円から11.8%減の231億7070万円となり、見事なコントロールといえる。2023年度財政力指数0.697という数値は、京都市を除く府内の市平均0.578よりも約0.12も高い数値であり、また、一般的に3.5%が適正な範囲とされている実質収支比率を13.7%にまでもってこられたこの数年間の皆様の努力に感謝する。

しかし、歳入の部分で、その構成比のうち、市税が占める割合33.2%の大部分を占める市民税と固定資産税がどちらもマイナスという部分が気になる。この二つの数字は市民の皆様の暮らしに対して、より一層目を向けないといけないサインかと思っており、まちづくりの客観的な一つの評価としても継続して気にすべき数字だと思っている。市民福祉の向上に対して、きめ細やかな予算配分や大胆な未来への投資に期待する。

会派として、健康推進センター改修事業、改善の余地が残るが古紙等回収推進事業、粗大ごみ受付システム・ごみ分別アプリ導入事業、着実に進めて頂いている水道管路耐震化事業、タブレット端末学習システム整備事業を評価し、賛成する。最後に要望として、未来の宝である子ども達に対する投資、やはり教育現場に「人」が必要だと考えている。京都府への要望を継続した上で、本市特有の制度「人」にも投資、そして緑化を含む環境に対する投資を要望し、賛成討論とする。

反対

市民が主役のまちづくりに課題

明日の向日 杉谷 伸夫 議員

令和4年度は、向日市の環境施策の進展など評価できる点があるが、市民が主役のまちづくりの視点から課題があり、決算認定には反対する。環境施策では、地球温暖化対策を正面に据えた環境基本計画をつくり、ゼロカーボンシティ宣言を行って、向日市行政が地域の先頭に立って推進する姿勢を打ち出した。また指定ごみ袋制度は1割以上のごみ減量を実現し、古紙の資源回収もようやくスタートした。この点は大いに評価する。

一方、森本東部地区の大規模開発でビル群の建設が進む土地を、農地として格安課税を行ってきたのは違法だとして、市民と訴訟を提起した。今年度より宅地課税が行われたが、さかのぼって是正措置をとるべきだ。JR向日町駅の自由通路事業は向日市の事業であるにも関わらず、JR社の協力が得られないとして議会と市民へ情報提供がなかなか行われなかった。JR向日町駅は向日市の玄関口だ。積極的に市民に情報を示す努力を求める。ゆめパレアむこうを利用者の声を聞かずに閉鎖したのは間違いだ。市民温水プール再開の検討が始まったが、一方的にプールを閉めてしまった反省に立つなら、取組のペースを上げるべきだ。向日市おうえん割引クーポン事業は、地元商店への大きな支援となったが、日常の買い物に使えないという声は最後まで反映されなかった。保育所に入所できない保育児童が未だ多数存在する。保育士不足の解消の事業見直しが必要だ。市民会館の名称はずっとこのままなのか、という声が多く届いている。市として考慮が必要だ。

賛成

向日市の未来予想図が見える決算

飛鳥井 佳子 議員

市制50周年事業や向日市教育150年事業を高く評価する。5向・6向小のバリアフリートイレ工事に感謝する。JR向日町駅東口開設や、阪急洛西口駅西地区の土地区画整理組合と森本東部地区への支援は頼もしく、引き続きのご尽力を願う。前回のクーポン事業では9割が安売りスーパーで使用されたが、今回のおうえん割引クーポン事業では、市内小売店で使用される事業となり、市民から絶賛された。地域商店を守ることは高齢者の生活を守ることに直結する「まちおこし」である。競輪場に1万人アリーナ・物集女城再建で「世界向日市」となることに期待して賛成する。

11月24日 本会議 (提出議案等の説明)

12月 5日 本会議 (一般質問)

6日 本会議 (一般質問)

7日 本会議 (予備日)

11日 厚生常任委員会

12日 建設環境常任委員会

13日 総務文教常任委員会

18日 本会議 (議案等の討論・採決)

第4回
定例会の
予定

会議時間はいずれも午前10時からの予定です。
なお、議案の内容は本会議初日の翌日にホームページに公開されます。お問い合わせは議会事務局まで。
議会事務局 874-3540(直通)
931-1111(市役所代表)

主な質問と答弁

一般質問

あなたも議会の傍聴をしませんか？

本会議当日、受付で住所・氏名など記入の上、傍聴券の交付を受けて入場することができます。

ただし、体調が不良の場合は、傍聴をご遠慮いただいています。

会議時間はいずれも午前10時からの予定です。また、本会議は議場前の議会中継視聴室、東向日別館3階のテレビモニターで生中継しています。

一般質問発言通告表は、ホームページや公共施設等で事前に公開されます。

第3回定例会での一般質問は、9月6日、7日、8日の3日間にわたり行われました。

質問・答弁とも1人2問までに絞り、内容を要約しましたが、詳しくは11月末ごろ、会議録に掲載されます。

会議録は市役所、図書館のほか、インターネットでも閲覧できます。

向日市議会ホームページへのアクセスは検索画面で

向日市議会 を入力して クリック

※質問の文責は議員にあります。


傍聴者向け
配付資料はこちら→



教育長 すでに給食用牛乳や食材料費の値上げがなされているが、本年度は増額分については公費にて負担し、保護者負担分の学校給食費は据え置いている。

給食費の無償化が489自治体に広がり、東京都23区では18区が、青森市・大阪市・奈良市・高松市・那覇市が小中学校とも無償だ。物価高騰と電気代などで子どもの貧困の実態が心配。給食で一日の栄養が何とかとれている子もいる。保護者はじめ市民生活は大変な状況。令和6年度の値上げを止めることについて伺う。

令和6年度給食費値上げストップを



日本共産党議員団
山田千枝子議員

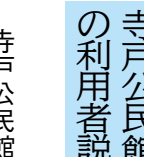
○その他の質問
・私道の改修を全額市で
・軍拡ストップ・物価高騰対策こそ急げ

また、改築する施設の内容や準備スケジュールやホール等が決まれば、広報やホームページ等を通じて市民の皆様にお知らせする。

教育部長 寺戸公民館に登録されているクラブやサークルをはじめ、利用者の皆様を対象に10月中を目処に寺戸公民館の改築に関するアンケートを予定している。

寺戸公民館建替への利用者説明会を

寺戸公民館は多くの利用者がおられ、市民のコミュニティや文化活動など幅広く利用されている。建替えるということを利用しての説明会などについて如何か。



日本共産党議員団
山田千枝子議員

建設部長 第3次都市計画マスタープランの土地利用方針で、阪急東向日駅周辺を都市型複合拠点地区に定めており、今後事業主からまちづくり条例に基づく開発基本計画届が提出された際は、多様な機能の集積が図れるよう、協議していきたい。

現在ライフシティの解体工事をされている。駅前の好立地を活かした整備に繋げて欲しい、新鮮なお肉や魚など生鮮食品を購入できるようになれば嬉しいという声をいただいている。民間事業者と協議を進めていただきたいかがかか?

ライフシティ跡地・地域活性化支援



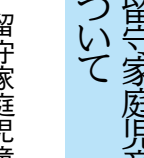
日本維新の会 無所属の会
松本みゆき議員

○その他の質問
・産後ケア・産後の支援拡充について

市長 広報誌などによる新たな支援員の募集や、週30時間勤務の指導員採用枠の新設など、人材確保に取り組んでいる。また、会計年度任用職員の福利厚生を職員に準じるほか、賃金等の改善、個別面談などを行っており、引き続き働きやすい環境づくりに努める。

留守家庭児童会について

留守家庭児童会は共働き家庭を中心に、児童保護者のよりどころとして大きな役割を果たしている。必要な環境を整備し保護者が求める開所時間を確保するためには、支援員の確保が急務である。今後どのように取り組むのかお尋ねする。



日本共産党議員団
山田千枝子議員



ひきこもり支援について

ひきこもり支援は、社会的孤立や自尊心の喪失といった課題に直面している人々に対して、社会参加を奨励し、持続可能な回復を支援するための取組が求められる。本市のひきこもり支援への相談窓口及び具体的な支援について伺う。

副市長 困りごと相談や精神保健福祉士による心の健康相談を実施している。今後も自立相談支援機関である社会福祉協議会など、各関係機関とともに、それぞれの心情に寄り添った支援を実施していく。

地域包括ケアシステムについて

可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを続けることができるよう、地域包括ケアシステムの構築を推進するための取組が行われている。地域包括支援センターの取組特に福祉制度だけではなく、医療・介護の連携について伺う。

市長 令和4年度から、乙訓医師会に在宅医療・介護連携支援センターの運営を委託し、在宅医療と介護が一体的に提供できる体制づくりを進めている。地域に密着している開業医がリーダーシップを発揮し、より積極的に取り組んでいただけるよう働きかけていく。

○その他の質問
・マイナンバーカード申請支援について



り災証明書の発行での官民連携

大手損害保険会社が水害時の保険金支払いのために調査した被災家の写真や被害状況を、契約者の同意のうえで、自治体が発行する「り災証明書」の資料として無償提供するサービスを行っている。向日市でも導入を検討するべきと考えるがいかがか。

市長 近年、複数の自治体が保険会社の損害調査結果の提供及び利用に関する協定を締結しており、被災された市民の方により早いり災証明書の発行などメリットが大きいため、本市も締結に向けて進めてまいりたい。

ふるさと納税を
防犯・防災対策に

向日市のふるさと納税の活用項目に「防犯・防災の推進に係る事業」を追加し、防犯カメラの設置・維持管理や避難所関連物品の購入などに活用してはどうか。

市長 「防犯・防災の推進に係る事業」の追加は、寄附者の皆様により細やかに事業を指定して本市を応援していただけるほか、本市の財源確保につながり、市民の皆様からの安心・安全の期待に応えることから、令和6年度から選択していただけるように担当課に指示をしたところである。



教育現場の現況と
展望について

教職の働き方改革、いじめや不登校等の問題に対して、「改善」まで届かない。子ども達の本音をしっかりと聞いて、夢を支え、後押しできる環境の実現に向けて、教育現場に「一人」が必要だ。教員業務支援員の倍増を強く求めるが見解と見通しについて伺う。

教育長 文科省の来年度概算要求でも教員業務支援員の増員費用などが計上されており、支援員の配置が、児童生徒への指導や教材研究の充実などにつながることを踏まえ、引き続き国や京都府に支援員配置の充実を要望していく。

競輪場の改築と
周辺整備について

京都府には丁寧な説明会を求め、周辺整備にあたっては、日常的に人が集まり、イベント等が開催できて、緑化対策に繋がる芝生化も一つの案として考慮していただきたいが、京都府への要望も含めて見解を伺う。

副市長 京都府において競輪場の整備に係る基本構想の策定が進められ、本市も子どもが安心してボール遊びができる場所の整備を提案している。今後は市として適切なタイミングで意見や働きかけを行い、市民が誇れる施設になるよう、引き続き要望してまいりたい。

○その他の質問
・竹の径の竹垣を活用することについて
・SDGs都市について



明日の向日
杉谷伸夫議員

審議会情報を速やかに公表すること

市政への市民参加の重要な機会である市の審議会について、その情報を積極的に公開し、市民参加の保障に努めることが大切だ。審議会の開催日程や資料は、速やかに公表するべきではないか。

総務部長 審議会の開催日程の公表時期及び資料の公表は、いづれも指針で方針を示され、より一層開かれた市政の推進のため、個々の審議会等において決定されている。今後、開催日程は日程が決まり次第公表し、資料もできる限り速やかな公開に努める。

通院医療費助成を高校生まで拡大を

高校生までの入院及び通院医療費助成は、現在では過半数の自治体で実施されていると推定され、まもなく全国的な標準となることは明らかだ。子育て支援最優先の向日市なので、通院についても高校生までの拡充を早急に実施するべきではないか。

市長 子育て世帯の経済的な負担の軽減につながるよう、まずは高校生及び中学生までの入院費無料化についての拡充をしっかりと実施し、実施後状況を把握・分析するとともに、引き続き国に対して子どもの医療費助成の制度化を要望していく。

○その他の質問
・国の子ども未来戦略方針の子育て支援施策について



会派に属さない議員
飛鳥井佳子議員

憲法九条の理念を広げる事について

憲法九条の堅持が当たり前のこの国が、今や集団的自衛権の行使、敵基地攻撃能力を持つため防衛費が増強されている。平和主義の姿勢を貫かれている市長の今後の施策を問う。

市長 平和を守り抜くことが我々の世代の使命であり、戦争を知らない世代に、戦争の悲惨さを伝え、平和の尊さを啓発する。令和6年度は世界平和都市宣言40周年であり、平和都市宣言の理念と戦争の惨禍を伝えられる記念事業を実施したい。

選挙時の個別訪問 事前運動は違法!

今夏の選挙は猛暑が原因で投票率が低いのではなく、候補者達のモラルのない行いが原因だ。選挙管理委員会 は公職選挙法第138条、第129条の事を全くご存じでない市民の方々に違反者を警察に通報するように啓発すべきである。政治家は法を守るべきだ。

選挙管理委員長 公職の候補者が公職選挙法を遵守することは当然であり、立候補予定者説明会でも周知している。選挙運動の違反が疑われる事例では警察に情報提供もしている。市民の皆様への啓発は、他の自治体の事例も参考にしながら、研究してまいりたい。

○その他の質問
・AIを過信せず人間の判断力を重視すべき
・化学物質過敏症対策は



日本共産党議員団
北林智子議員

18歳まで医療費通院無料化について

今年の4月から、18歳までの医療費が入院のみ無料となり喜ばれている。日本は、子育てにお金がかかり、さらに物価高騰・値上げラッシュの今、亀岡市のように、向日市でも18歳まで医療費の完全無料化を実施することについて伺う。

市民サービス部長 限りある財源の中、子育て世帯の経済的な負担の軽減につながるよう、まずは高校生及び中学生までの入院無料化についての拡充を実施・分析するとともに、引き続き国に対し、国の責任において子どもの医療費助成が早く制度化されるよう要望する。

○その他の質問
・ぐるっとむこうバスの路線拡充とバス停増設の検討について

留守家庭児童会の昼食提供について

朝の手作り弁当の負担軽減、食中毒などの衛生面の不安、共働き家庭やシングル家庭が増えることなどから、夏休み中の昼食提供への要望を多く聞く。積極的に、実施に向け検討していただけないか伺う。

教育部長 昼食の提供にあたっては、業者の確保のほか、アレルギへの対応や欠席児童の数量調整など、配慮すべきことが多く、指導員の負担も考慮すると昼食の提供は難しい。今後も昼食の持参様のご協力をいただきたい。

災害時の要支援者の避難について



日本維新の会 無所属の会
村田光隆議員

災害時に要支援者が避難する福祉避難所は現在6ヶ所あり、さらに拡充する答弁をいただいたが、対応できる施設には限りがあることから、京都府では一般避難所に福祉避難コーナー設置のガイドラインを策定している。本市でも設置に向けた検討をするべきではないか。

市長 避難所には、様々な配慮が必要な方もおられることから、状況に応じて京都府のガイドラインに基づいて対応する。間仕切りテントなどでも有効活用し、市民会館の福祉避難コーナーの具体的なレイアウトを検討する。

市議会議員選挙を終えて

命に危険を及ぼし、不要不急の外出を控えるよう呼びかけられる暑さの中、市議会議員選挙が行われた。投票率向上と経費削減の観点からも市長選挙との同日選挙が必要と考えるが、改めて考えをお聞きする。

選挙管理委員長 同日選挙は投票率向上や費用面で効果は大きい、恒久的に実施するには議会の解散以外に選択肢がなく、選挙管理委員会として対策ができるものではない。議員の任期満了前の一定の期間に議会が解散されることで、市長と市議会議員の選挙を同時に行うことが可能となる。

幹線道路におけるスピード抑制



MUKOクラブ
和島一行議員

物集女街道は令和7年度に拡幅完了予定と聞く。その上無電柱化される為、車の離合はしやすくなるが、副産物としてスピードを出す車は必ず出現する。注意喚起ではスピード抑制はできない。本市のスピード抑制対策を訊く。

市長 速度抑制対策の中でも警察の規制や取り締まり強化が最も有効と考えるが、視覚的に狭く見せる路面標示やカラー舗装、減速を促す看板の設置などの対策を講じている。今後も規制などの強化を警察に要望するとともに速度抑制対策を講じていく。

ペットの同行避難について

ペットはもはや家族同然である。阪神淡路大震災や東日本大震災のような大きな震災があった場合に家族であるペットを自宅に置いていくことをためらう家族は当然の如くある。本市としてペットの同行避難の必要性を問う。

環境経済部長 同行避難は避難者が迅速かつ効果的な避難のため必要である。今後は京都府が策定中の市町村向け「ペット同行避難対応マニュアル」の内容を踏まえ、地域の皆様や京都府、関係団体と協力して同行避難が円滑に進むよう取り組む。

○その他の質問
・荒天時の一般ごみ、資源ごみ回収について

投票率向上への主権者教育について



明日の向日
林リエ議員

子ども達が市政や議員を身近に感じるためのきっかけとなるため、教育委員会としての事業や、これまで行われてきた取組はあるのか。今後、主権者教育を充実させるための方向性について伺う。

教育長 小学校では社会科や総合的な学習で公民施設見学や出前授業を実施し、中学校ではふるさと学習として取り組んでいる。関係機関と連携し、児童生徒が地域の課題について考えることができるよう、模擬選挙などの体験的活動を通した学びを進めていく。

こども達の遊び場の新設について

市内にはこども達がのびのびと遊べ、球技ができる場所がない。阪急洛西口駅西側や、競輪場施設整備に係る府への要望を含め、市民の皆様がいつでも・誰でも気軽に憩い・集い交流できる場所の新設可能性について、市の見解を伺う。

市長 必要性については十分認識しており、第2次ふるさと向日市創生計画において、防災拠点としての機能を備えた多目的グラウンドの整備検討を掲げていることから、本格的な球技ができる場所については今後も引き続き検討していく。





JRR向日町駅について

JRにより分断されている東西の市街地を結ぶ効果が求められているが、現行の設計では自転車の通行はできない。市民の多数が自転車を使用しており、自転車を通れないというのは東西を結ぶ機能が弱まる。自転車用の連絡通路を整備してはどうか。

建設部長 本事業は本體工事に着手する段階であり、今回整備する自由通路を自転車利用にするには、エレベーターの設置や幅員の見直しなど、数十億円の事業費の増大が見込まれる。既存の地下通路の工事も不可能であるとJRから聞いている。

公園の名称公募について

去る7月20日から森本東部ふれあい公園及び森本東部どんぐり公園の2施設が供用開始されている。公園の名称についてはどの様に命名しているのか伺う。今後、整備される中規模・大規模の公園については名称の公募等を行われてはどうか。

市長 公園の名称は、主に小字名を採用しており、土地区画整理組合が提案された名称や歴史・景観資源の名称も採用している。しかし、公園の正式名称よりも愛称で呼ばれ、地域に浸透している公園もあることから、公園の名称を公募することも含め検討する。

- その他の質問
- ・前田地下道について
- ・選挙・投票所について
- ・防災について



障がい者の就労支援の現状について

障がい者の就労先が見つからない事で家族が経済的負担や心身の負担を抱える現状がある。近年は特に精神の障がいが増加し、なかなか就労に結び付かない現状が目立つ。向日市では障がい者の就労の実情についての程度の実情が把握しているのか、把握しているのか伺う。

市民サービス部長 障がい福祉サービスの利用では、令和4年度末時点で、就労継続支援A型は55名、B型は113名、就労移行支援は12名の方が利用され、そのうち一般企業等に就職された方は就労移行支援利用者の3名となっている。

支援事業者等への支援について

支援事業者や雇用先の企業が抱えている問題に対して行政として実情を認識されているか伺う。

市民サービス部長 令和2年度に、就労継続支援事業所に調査を行い、事業所と障がい者とその家族との間で就労に対する考え方に隔たりがあることが認識できた。障がいの特性等も考慮し、法律に基づき、提案や支援につなげてまいりたい。



競輪場アリーナ構想について

長きにわたって競輪開催に関わる諸問題が競輪対策協議会で議論されてきた。北山アリーナ計画は中止、断念されたのか。向日町競輪場整備に関わる基本構想で市の意見が出されている。今後の計画を問う。

総務部長 北山のアリーナ建設は京都府が検討を進めているもので、本市は承知していない。前定例会で市長が表明したアリーナ誘致は北山の計画とは一切関係なく、向日町競輪場の整備後に生じる余剰地を活かし、本市の活性化につながるようにとの思いから表明した。


公園整備について

多くの市民が訪れる西向日公園の水はけをよくしてほしいとの要望を受け、現場の状況を見てきた。東側のテニスコートや、南側の公衆トイレ前の鉄棒付近に水たまりができていた。改修出来ないか。

建設部長 西向日公園も、翌日には大部分乾いている状況ではあるが、一部水はけが悪い状況は既に把握している。水たまり解消のため、土の補充や敷均しなどを検討している。

- その他の質問
- ・東向日駅前の整備は
- ・府営団地建替え引越し費用の負担をなくせ





日本維新の会 無所属の会
長谷川愛議員

**共通投票所制度の
成果について**

新たな施策として、この制度を導入したことによる所見をお尋ねする。

選挙管理委員長 令和5年4月の京都府議会議員選挙では投票者数の6・5%、同月の向日市長選挙では8・3%、7月の向日市議会議員選挙では8・6%にあたる方が利用され、徐々に制度が市民の皆様へ浸透し、有権者の利便性の向上に効果があったものと考えられる。

年代別投票率について

選挙の投票率の低下は、全国でも課題になっており、特に若年層の選挙離れは大きな課題となっている中で、有権者に向けた向日市の施策などあればお尋ねする。

選挙管理委員長 中学校での出前講座や、選挙啓発の講演会を実施している。今後は、市内の児童・生徒を対象とした選挙啓発ポスターコンクールの実施を検討しており、若年層により選挙に関心を持っていただけるように取り組む。



議会のこころ

7月11日	近畿市議会議長会(大阪市)
8月7日	京都地方税機構議会
8月18日	第1回臨時会
21日	議会運営委員会
25日	京都府後期高齢者医療広域連合議会
28日	本会議 第1日(第3回定例会)
9月5日	議員全員協議会
6日	議員互助会総会
7日	歴史まちづくり促進議会議員連盟総会
8日	大山崎町議会議員視察来庁
9月29日	議会運営委員会
5日	本会議 第2日(一般質問)
6日	本会議 第3日(一般質問)
7日	本会議 第4日(一般質問)
8日	議会活性化特別委員会
12日	厚生常任委員会
13日	建設環境常任委員会
15日	総務文教常任委員会
21日	議会運営委員会
22日	まちづくり特別委員会
25日	本会議 最終日
26日	乙訓環境衛生組合議会
27日	乙訓福祉施設事務組合議会
	乙訓消防組合議会

編集後記

皆さん、こんにちは！新しい議会の体制がスタートし、議会だより編集委員会も新たなメンバーでの出発となりました。議会だよりが一人でも多くの市民の皆様が向日市のこと、市政や議員を身近に感じていただける一助になることを編集委員会として願っております。

季節の変わり目お身体ご自愛くださいませ。
(議会だより編集委員会)



令和5年第3回定例会

議決結果一覧

○=賛成、×=反対、退=退席、除=除斥、欠=欠席 ※議長（上田）は、可否同数以外は採決に加わりません。

Table with columns for item number, item name, decision result, and individual council members (山田, 北林, 米重, 丹野, 村田, 青山, 長合川, 松本, 米澤, 上田, 天野, 福田, 富安, 和島, 近藤, 杉谷, 林, 飛鳥井). Rows include items 62-65, 70-71, 5, 10, and items 58-76, 9.

※議案等の内容は、向日市議会ホームページ「議案・議決結果」で公開しています。



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。